

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第2回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域若者会議
開催日時	平成30年7月24日(火) 14時00分～16時00分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議 題	(1)瀬戸・高松広域連携中枢都市圏で拡充する・取り組むべき事業について (2)瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会への報告について (3)今後の会議について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席者	松岡部会長、桑村副部会長、永富様、西川様、眞鍋様、田中様、六車様、中川様、寺下様、圓藤様、福西様
オブザーバー	大学生 3人
傍聴者	1人 (定員 5人)
報道機関	1人
担当課及び連絡先	政策課 (839-2135)

会議経過及び会議結果

会議の概要は、次のとおり

議題(1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏で拡充する・取り組むべき事業について

【事前に若者会議のメンバーから提出された意見を踏まえ、2グループに分かれて議論】

<主な提案内容>

(グループ1)

- ビジョンの明確化(どういう分野で突出した圏域にしたいか)
- 若年層や圏域の住民の集まる「場」づくり
- きっかけになる人の養成事業

(グループ2)

- 小豆島の空き家バンク制度等を参考にした移住・定住促進事業
- 事業承継について、業種別に分けてのマッチング事業の実施
- 農産物に係るイベントでの適正な価格でのやり取り

(グループ1・2共通)

- インバウンドのカテゴリー別分析の実施

(部会長)

この他、グループ関係なく意見があれば、お願いしたい。

(参加者)

事業承継については、事業承継が進まない状況でもあるので、事業承継に関する研修なども必要になるのでは。

会議経過及び会議結果

議題（２）瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会への報告について

（部会長）

これまでにいただいた意見、今回の会議内容については、部会長、副部会長、事務局で取りまとめ、８月２７日開催の第２回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会で報告することとしたい。

（異議なし）

（部会長）

報告内容については、ビジョン懇談会の会議録という形で情報共有する。

議題（３）今後の会議について

（部会長）

今年度の会議は今回で終了だが、会議の設置期間については、２年間となっているため、今後、情報提供、連絡や依頼については、メール等でお知らせすることにする。

（事務局）

国においても、連携中枢都市圏構想に対する重要度が高まっていることから、来年度までの間に、今年度の会議で議論された項目以外にも、本圏域で取り組むべきことについて、情報収集いただきたい。

（部会長）

最後に、オブザーバーの方から意見をいただきたい。

（オブザーバー）

複雑な内容の意見もあり、全てを理解することはできなかったが、高松市はコンパクトな街だが、様々な楽しみがあると感じている。高松市を知らない方にも、魅力が伝わると良いと思う。

（オブザーバー）

非常に貴重な時間であった。県外出身だが、住みやすさは感じているので、上手に情報発信がなされれば良いと思う。

（オブザーバー）

事業を考える際に、ビジョンを設定することの重要性や、メリット、デメリットを考慮することの重要性を感じた。

（部会長）

本日の会議は以上とする。